

特集

未来から託された

彩り豊かで个性的なかごしまの自然

生物多様性とは？

地球上の生き物は、それぞれが生きる場所や環境などの影響により、さまざまな「個性」を持つようになりました。そして、その個性豊かな生物たちが、食物連鎖や花粉を運ぶといった多様な「つながり」を持つことで、私たちの暮らしを含めた自然が成り立っています。

奄美大島の海に広がるサンゴ礁

鹿児島県の生物多様性について

・生態系の多様性

海・川・里山・干潟などいろいろな種類の生態系が存在しています。

鹿児島県は、南北600kmにわたる広大な領域を有しており、幅広い気候帯を背景としたさまざまな生態系が存在しています。また、人の手が加わった里山がある一方で、原生的な自然も豊富に残っています。さらに島しょ部では、独自の生態系が成立しています。

・種の多様性

多くの種類の生き物がいること。それぞれの種は環境に適応するように進化しています。

鹿児島県は、植物・動物の生物地理学上の重要な分布境界線があり、非常に多様な生き物がいます。鹿児島にしかない固有種と呼ばれる個性的な生き物もいます。

・遺伝子の多様性

同じ種であっても、地域によってもさまざまな個性や特徴を持っています。

鹿児島県は離島が多く、地形も複雑であることから、同じ種とされる生き物でも独自の進化の過程を経て、個性的な特徴を持つ生き物の集団が存在しています。





鹿児島は生物の多様性に満ちています

かごしま生物多様性マップ



① ツル: 世界的なツルの越冬地 (出水市)



② ベッコウトンボ: ラムサール条約登録湿原である蘭牟田池で生息 (薩摩川内市)



③ イルカ: 野生のイルカ (南さつま市、錦江湾など)



④ マルバサツキ: 園芸用ツツジの原種といわれるツツジ科ツツジ属の常緑低木 (南薩〜トカラ列島)



⑤ クロツラヘラサギ: 全世界に約2,000羽しかいないといわれる絶滅危惧種 (南さつま市、錦江湾など)



⑥ 新燃岳とミヤマキリシマ: 火山高地に生育する半落葉低木で鹿児島県の県花に指定 (霧島市)



⑦ ノカイドウ: 霧島山の渓谷沿いにしか自生しない植物 (霧島市)

渡瀬線

トカラ海峡に設定された、世界的な生物地理学上の分布境界線。この線を境に大きく生息・生育する生き物が異なります。



⑩ ヤクザル: 屋久島だけに生息するニホンザルの亜種 (屋久島町)



⑪ 白谷雲水峡: ヤクスギの混生した照葉樹林や珍しいシダ類が見られる場所 (屋久島町)



⑫ ルリカケス: ルリ色の鳥で鹿児島県の県鳥に指定 (奄美大島、徳之島)



⑬ マングローブ: 亜熱帯地域の河口汽水域の湿地に育つ (種子島、奄美大島など)



⑧ 照葉樹林: 温帯に広がる常緑広葉樹林の一つ (大隅半島など)



⑨ オオダイガハラサンショウウオ: 広葉樹林に覆われた溪流の源流部付近に生息 (大隅半島)



⑭ アマミノクロウサギ: 奄美地域だけに生息する固有種で国の特別天然記念物に指定 (奄美大島、徳之島)

